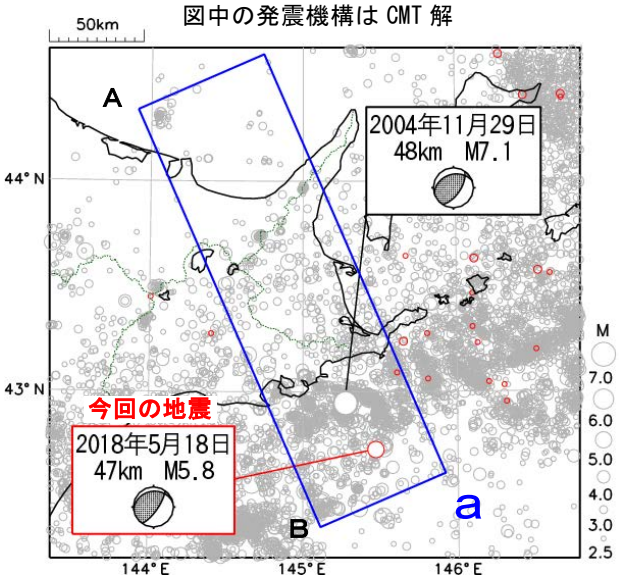
５月 18 日　釧路沖の地震

震央分布図
（2001 年 10 月１日～2018 年５月 31 日、
深さ０～200km、M≧2.5）
2018 年５月の地震を○で表示
図中の発震機構は CMT 解

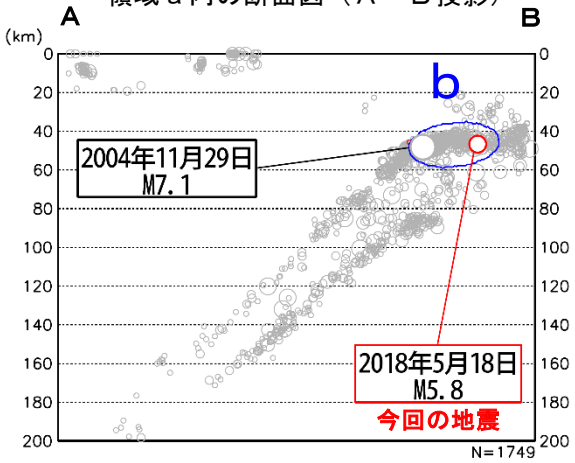


2018年５月18日03時42分に釧路沖の深さ47kmでM5.8の地震（最大震度４）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

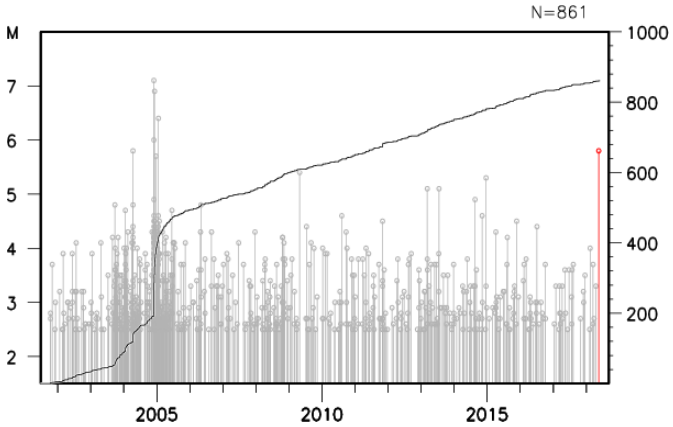
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）では、Ｍ５以上の地震が時々発生しており、2004年11月29日にはM7.1の地震が発生している。

1923 年１月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、M7.0 以上の地震が３回発生しており、最大規模の地震は「1973 年６月 17 日根室半島沖地震」（M7.4、最大震度５）で、負傷者 28 人、住家被害 5,153 棟などの被害が生じた。また、根室市花咲で 280cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した（「気象庁技術報告第 087 号、1947」による）。

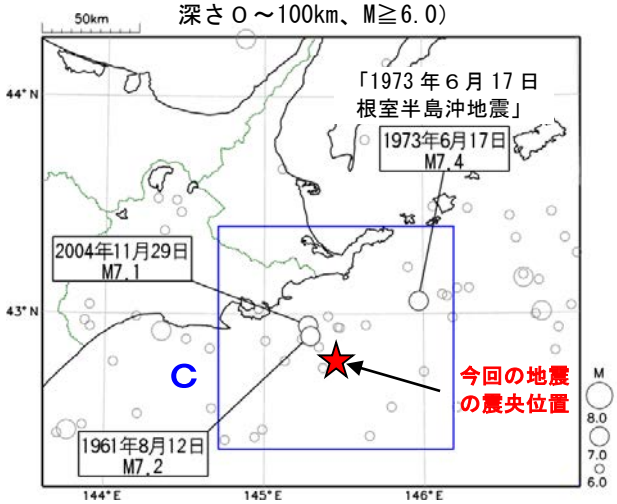
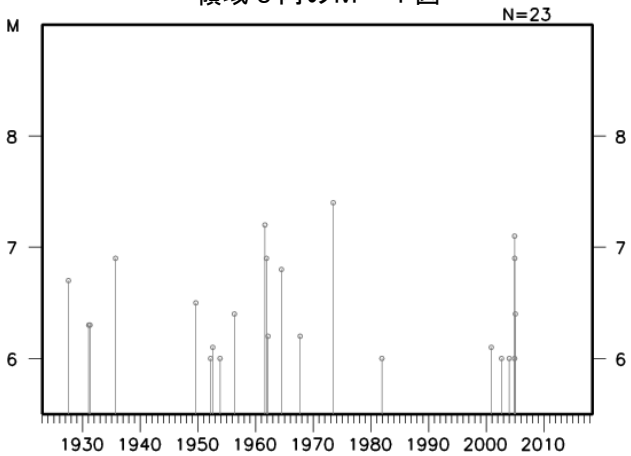
領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



震央分布図
（1923 年１月１日～2018 年５月 31 日、
深さ０～100km、M≧6.0）



領域ｃ内のＭ－Ｔ図